

## 公共交通部会



### 第22回バス！のってスタンプラリー スイーツGO！



昨年秋（2016年11月26日）に実施した、「バス！のってスタンプラリースイーツGO！」は大人217人、小児159人、幼児55人の計431人と、たくさんの方の参加がありました。

今回はそんな参加者からの感想をご紹介します。昨年の秋から公共交通部会に所属し、準備段階から協力店舗を回ってもらいスタッフとしても関わってくれた方ですが、今回子供さんと一緒に参加されました。実際参加してみて「バスに乗ってスイーツを満喫する」という企画はすごく楽しく、様々な発見もあったようですので、一部抜粋してご紹介します。

『(前略) 子供達とスタンプラリー中で少し気になった事は、歩道のつくりでしょうか。枚方市の中心部から離れるにつれて歩道がまるで道路のオマケであるかのような扱いを受けている事です。単に段差だけを設けただけの幅が狭い歩道では、子連れの立場としてはとても不安な気持ちになります。(中略) 皆さんも普段から「美味しいよって聞いた事はあるけど行った事ないな」という事はあるかと思います。ご多分に漏れず私もその一人で前々から行ってみたかったお店を今回訪れる事ができました。そしてバス乗降の仕方や乗車マナーを子供に教えながら気づいた事。子供達はいつの時代もやっぱり「降車ボタン」は我れ先に押したがりですね。スタンプラリーの最中、お店の方からも「気をつけてねー」とお声がけいただき、ガラポンの景品の内容も盛りだくさんだったのでまたスタンプラリーに参加できればと思います。』



どのルートを行こう(^^♪  
地図を広げて  
思案中！



今回の「バス！のってスタンプラリー」の実施に当たっては、下記市内の企業や店舗に、店舗での特典、ガラポンの景品の提供などご協力をいただきました。ありがとうございました。

参加賞の提供：株式会社ブルーミッシュ（マドレーヌ）森下仁丹株式会社（レモン仁丹）、  
特典や景品の提供：アマーク・ド・パラディ ICC、イロハベーカリー、恩地食品株式会社、菓楽、北村みそ本家、グラン ターブル、京阪園芸株式会社、呼人堂、極楽湯 枚方店、茶通仙 多田製茶、大黒屋、パティスリーグランディール、パティスリージョーカー枚方本店、パティスリーボンボワ、ブレッドハーモニー、宮之阪中央商店街振興組合、森下仁丹株式会社

# お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

## ◆◆◆エコキャップ・プルタブの回収報告◆◆◆

●エコキャップ H28年7月・10月発送分 227,900個

累計 2,404,122個

※累計のエコキャップをごみとして焼却した場合に、  
排出されるCO<sub>2</sub>の量は約17,740Kgになります。

●プルタブ H28年10月・11月発送分 77.4kg

累計 623kg（手数料や送料を差し引いた量です。）

ご協力いただきました  
大勢の皆様、  
ありがとうございます。



※エコキャップは、医療支援・ワクチン支援や障害者支援等様々な  
社会貢献にあてられています。

※プルタブは、車イスの購入資金支援として寄付されます。

## 「我が家のエコノート」の参加者が200名を超えました！

環境家計簿「我が家のエコノート」ってご存知ですか？温暖化対策の一環で、各家庭でのエネルギーの見える化を図ることで、省エネに取り組んでもらおうと行っているものです。

このほどこの「エコノート」への参加者が200名を突破しました。しかし、その参加者の中の会員さんの比率が1割にも満たないということが非常に残念です。ひょっとするとそんなものを付けなくても省エネの取り組みは“バッチリ”なのではのでしょうか……。そう言わずに一度始めてみられてはどうでしょう。新たな気づきがあるかもしれませんよ。

## 2016 環境ミニ講座〈後期〉 \*\*\*お知らせ\*\*\*

普段のなにげない暮らしの中で捨ててしまっているもの、使いすぎてしまっているもの、ふとわいてくる小さな疑問？集まって手を動かし、話をしながらエコな暮らしのヒントを持ち帰るための講座です。

暮らしのエコ  
**それって常識？ 非常識？**

電氣とガス、暖房するならどっちがお得？  
こたつとホットカーペットどっちがいいの？  
電力プラン どの契約がお得？  
などなど、お茶を飲みながらみんなで楽しく  
話しましょう！



無料

1 月26日(木) 13:30~15:00

**レンジで簡単! いちご大福**

ひな祭りにぴったりな  
手づくりスイーツ。  
レンジを使った  
エコクッキングです。  
昨年大好評につき今年  
もやります！  
お子様も一緒にどうぞ！



材料費 100円

2 月23日(木) 13:30~15:00

場所：サプリ村野南館2階  
環境情報コーナー  
時間：13:30~15:00  
※「ためになるなぁ」「明日  
からやってみよう!」そんな  
エコを考えるひとときを楽  
しみませんか！



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「COP22 でみえた日本の姿勢は!?」「ガスの自由化スタート」です。

### ◆ COP22 でみえた日本の姿勢は？！

一昨年(2015)年の12月に、新しい温暖化対策のルール、『今世紀後半には温室効果ガスの排出を実質“0”にすることを目指す「パリ協定」』が締結されました。それから約1年、昨年(2016)年11月4日に「パリ協定」が発効しました。そしてその後、11月7～18日に、モロッコのマラケシュで国連気候変動枠組み条約第22回締約国会議(COP22)が開催されましたが、そこでみえた日本の取り組み姿勢はといえさて…。ある新聞記事によると、『日本は政府も企業も存在感が薄く、脱炭素社会を見据えた世界の潮流から外れていると感じた』とありました。

EUは2011年には「2050年に1990年比80～95%削減」する「低炭素経済ロードマップ2050」を発表しており、アメリカも近々長期戦略の発表予定をしています。ところが日本は、2016年7月に、ようやく経済産業省と環境省がそれぞれ長期戦略を作るための専門家会合を立ち上げ、議論を始めたばかりだということです。さらにそこでも「国内での大幅削減は経済に悪影響が出る」とする経済産業省と、「社会経済構造の大変換・変革が必要」と指摘する環境省の意見が折り合わず、様々な議論が噴出しているというのですから、CO<sub>2</sub>排出削減への道はなかなか見えてきません。

しかしそんな中であって、国内企業の中には脱炭素社会を見据え、動き出しているところも見られます。事務用品の通販会社アスクルは、配達の無駄を無くし2030年には自社が出す二酸化炭素の排出“0”を目指すとし、コニカミノルタは2050年までに2005年比80%の削減を目指しています。“海氷消失・高潮・害虫・巨大台風 迫るリスク”といったニュースが流れる昨今、政府が、そして私たちも真剣に温暖化の問題に向き合っていかなければいけないと思うのは筆者だけでしょうか・・・？

### ◆ ガスの自由化スタート！

昨年の会報誌夏号のこのコーナーで「電力自由化がスタートして3カ月」と書きました。今年の4月からはガスの自由化も始まります。電力の自由化で、電力会社を切り替えた方もおられたと思いますが、依然、どうすることが一番なのかと迷い続けている方もたくさんおられるというのが現状ではないでしょうか。そこにきてガスの自由化のスタートです。

「ガスが自由化になる」いったい何をどう考えればいいのか・・・？おそらく皆さんもそういう思いを持たれることでしょう。そもそも何のための自由化なのか？政府の思惑としては、外国のガス料金に比べ高いとされる日本のガス料金を、自由競争による価格の引き下げをめざすとともに、サービスの向上めざすというのがあるそうです。そんな中、大阪ガスは自由化を見据え、早くも価格の引き下げを昨年末に発表しました。さて私たち消費者にとってガス自由化はどうなんでしょう…

# 地域の環境人 登場!!



こんなところから始めてみるのも…

エコキャップ運動やプルタブ運動はどうでしょう・・・



“エコキャップ” ってご存知ですか？

そう！ペットボトルのキャップのことです。何とこのエコキャップ、環境ネットワーク会議が1年間にエコキャップ協会に持ち込む分だけで、約50万個!!というから驚きです。ペットボトルの利用を控えるのは勿論ですが、ごみに紛れ燃やされCO<sub>2</sub>の排出源になるより、回収され、再生資源としての売却益が、災害支援や、後進国支援に活かされるとなると、誰もができる環境活動としてエコキャップ運動はいいかもしれませんね。渚西中学校や、山田東小学校などのように、生徒会や児童が地域の方々と協力して取り組んでいるところや、京都信用金庫、なごみの里など、事業者でこの運動に取り組んでおられるところもたくさんあります。一方“プルタブ運動”もあります。そもそもは、アルミ缶飲料の飲み口に使われている“プルタブ”が、以前は本体から外れるようになっており、それがポイ捨てされたり、一般ごみに混入することで怪我をする危険があること、プルタブが良質なアルミでできていることなどから、回収運動へと繋がっていったのです。本体から外れなくなり危険性が無くなった現在も、売却益を授産施設等に役立てたいとの思いで熱心に回収ボランティアをしている方もおられます。星丘在住の大島正廣さんもその一人です。

皆さんもいかがでしょう。

(関連記事をP6に記載しています)

まち中のホットなエコ情報を紹介するコーナーです。エコな取り組みや頑張っている人、環境への関わりや思い、日常の中での関心毎などをお寄せください。\*200~400字程度(原稿は紙面の都合で加工させていただきます) \*写真、イラストもどうぞ \*掲載の方には記念品を進呈

## ひとこと

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。さて、去年は全国各地で様々な災害が起きました。そんな中、私も災害に備え、非常用持ち出し品の準備や食料備蓄品の見直しなど行いました。今回初めて防災食でもあるお湯や水で戻して食べるアルファ米を試食しましたが、予想以上に美味しく、クオリティーの高さに驚きました。

現在、環境家計簿「我が家のエコノート」の10ポイントの賞品に“防災食のアルファ米と冷えても美味しいカレー”のセットがあります。ぜひ、この機会に皆さんも試して下さいね！ N・I

## ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第52号

平成29年1月1日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者:伊丹 均 編集責任者:丸井 晶子